

《事故情報》

非定常作業中のタンク内で硫化水素中毒事故（1名死亡）

（一社）大阪府高圧ガス安全協会
事務局

本年5月15日午後2時頃、北海道枝幸町のホタテ加工場の汚水処理場で「硫化水素が発生するところに男性2名が落ちた」と消防に通報がありました。

この事故により **40代の男性2名が病院に搬送されましたが、その内1名が死亡**したとの事です。

事故原因の詳細は不明ですが、本事故の状況から学べる教訓を職場で考えていただき、自主保安力の強化に役立てていただきたく、情報を配信させていただきます。

1. 事故概要

- （1）発生日時：令和7年5月15日（木） 午後2時頃
- （2）発生場所：北海道枝幸町新港町のホタテ加工場の汚水処理場
- （3）作業状況：汚水タンクのポンプ交換作業中、水を抜いたタンク内部に、はしごを使って入ったところ倒れ、さらに救助しようとタンクに入った男性も倒れた。
- （4）物的被害：物損は不明
- （5）人的被害：40代の男性2名が病院に搬送された。
1名が死亡し、もう一人も搬送時には意識なしの状態であった。
- （5）事故原因：硫化水素が発生する場所であることは認識していたようだが、以下の事が実施されていたか詳細は不明。
 - ①監督者が作業前に、作業現場が酸素欠乏症或いは硫化水素中毒になるおそれのある場所として、作業員に伝え、認識させていたか。
 - ②作業員が危険場所としてKYを行っていたか。
 - ③酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者が選任されていたか。
作業主任者の監督のもと、事前に酸素或いは硫化水素濃度測定を行い安全確保していたか。
 - ④適切に管理された空気呼吸器等の保護具が用意されていたか。

非定常作業において作業現場の危険性を洗い出し、その対応策を現場作業員に周知し、必要に応じて法定責任者の選任、監督させることが必要になります。

2. 報道記事（日テレニュースを参考に添付します）

（1）インターネット情報

「北海道 硫化水素」で検索すると、その他記事も出てきます。

「硫化水素が発生するところに落ちた」2人が工場 タンク内で倒れ1人死亡 北海道枝幸町

日テレNEWS NNN / 2025年5月15日 22時0分



日テレNEWS NNN

15日午後、北海道枝幸町の工場で作業中だった40代の男性2人が倒れ、意識不明の状態です。病院に搬送、うち1人の死亡が確認されました。

作業事故があったのは、北海道枝幸町新港町にあるホタテの干し貝柱を製造する工場です。午後2時前、作業員から「硫化水素が発生するところに男性2人が落ちた」と通報がありました。

警察によりますと、当時、工場内でタンクのポンプを交換する作業をしていた40代の男性2人がタンク内で倒れ、意識不明の状態です。病院に搬送されました。その後、うち1人が搬送先の病院で死亡しました。

男性2人が作業を行っていたのは汚水を貯蔵するタンクだったということで、警察と消防が事故の詳しい状況を調べています。